

今年の市民文化祭は「誰もが笑顔 ここから広がる 文化の輪」

初夏の調布国際音楽祭、冬の調布映画祭(映画のまち調布シネマフェスティバル)と並んで、秋の市民文化祭は調布の3大文化事業の1つになっている。

今年は第68回でテーマは「誰もが笑顔 ここから広がる 文化の輪」。10月12日(木)～11月12日(日)まで文化会館たづくりやグリーンホール、市役所前庭、東部など3つ公民館で開催される。大内輝雄実行委員長は「12日のたづくり2階くすのきホールでの開会式では参加者全員による調布市民の歌(わが町調布)の合唱を4年ぶりに再開するなど制約のない文化祭です。参加団体の演奏・演技など様々のステージがありますので、市民の皆さん方に堪能していただきたい」と話す。大正琴、琵琶邦楽、民謡、クラシックギター、吟剣詩舞、吹奏楽、奇術など18団体が発表する。筆者は毎年見ているが、各団体ともに素晴らしい演技や演奏で調布の文化芸術の質の高さを実感している。展示では8団体が参加して絵画展、書道展、写真展などがある。

14日(土)と15日(日)には市役所前庭で文化フェスタが開催され、エスペラント展、アマチュア無線公開運用などがあり、特設ステージでは舞踊、フラダンス、いけばなパフォーマンスなど。地域文化祭は東部、西部、北部の3つの公民館で開かれ、地域に根差した団体の作品が展示される。

尚、スポーツでは第63回市民体育祭が開催中で、30競技が行われている。10月にはバドミントン団体戦、空手などがある。(大泉清)

トリエ京王調布 C 館横の子供たちの遊び場「てつみち」が9月末で撤去

イオンシネマシアタス調布が入るトリエC館横の「てつみち」が9月18日の線香花火による「お別れ会」の後で撤去された。京王線の地下化以来6年間に渡り、子供たちの遊び場や市民が気軽に集う場所として人気だったが、この後は「少し拡張してキッチンカーなどの置ける道路として整備します」(街づくり事業課)。賑わいのある場所になることを期待したい。

TBS日曜劇場「VIVANT(ヴィヴァン)」に深大寺参道や布多天神社が登場

7月から9月17日までTBSで放送され大ヒット、自衛隊の秘密部隊「別班」も話題となった「VIVANT」の5話(8月13日放送)に深大寺参道やそば店「八起」が登場した。「主演の堺雅人さんやキムラ緑子さん、yukinoさんが調布に来、撮影を支援しました」(調布市観光協会)。堺さんが布多天神社の牛の像の前を歩くシーンもあった。人気番組のロケ地に調布の名前が出ると嬉しい。

「地下室の会」主催 調布で「BASSMENT PARTY LIVE」開催のお知らせ

「調布讃歌」の作詞・作曲でお馴染みの依知川伸一さん(調布市民放送局会員)が、副会長をしているプロのベーシスト集団「地下室の会」が設立25周年を迎え、調布でライブを行う。(調布での開催は3.11復興支援ライブに続き2回目) 日時:2023年10月7日(土)14時～ 場所:文化会館たづくりくすのきホール

日本の有名ベーシストの演奏が生で聴けて、音楽好きの方には必見! チケットは4,000円。全席自由。

定員300人。(事前申込先:bassmentparty1998@yahoo.co.jp) 当日申し込みも可能。

【FC 東京応援記】

クラブ創設25周年シリーズの3試合が鳥栖戦から始まった。しかし開幕前、この終盤に順位を10位だと思っていた方はいだろうか? 私は思っていなかった。前年からの戦術理解浸透に積上げ、点取り屋の大物選手加入、悪くても5位以内。ACLの狙える位置にいるだろうと思っていた。ところが今年も無冠確定。しかも負け越し中。興行として大成功だった国立競技場の試合もあるが、やはり常に優勝を争うチームであってほしい。MIXIさん、現場にもっと、もっと力を注いで下さい。東京を常勝チームに変えてください。血を入れ替える覚悟で。(日比生)

ちょビット

No.26



調布社協 インフォメーション

10月から赤い羽根共同募金運動が、全国一斉に始まります。

市内でご協力いただいた募金は、東京都共同募金会で取りまとめ、主に市内の福祉施設や団体の自立支援のための活動や環境整備など、市内の福祉のために配分されます。

募金は社会福祉協議会、市役所(福祉総務課)、神代出張所などの窓口で承ります。

今年も皆様のご協力、お待ちしております。

2023年10月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！



調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 ～ 15日	①『中川平一作品展』ギャラリートーク：風景画でたどる調布のいまむかし 中川平一さんは、昭和40年代から調布市内の小学校に教師として勤める傍ら、懐かしい風景から、「いま」の風景まで 調布の移り変わりを描き続けています。 ②『マチトリドリ』イラストレーター3人の展覧会～調布を描くイラスト展～ 7月15日から約2か月にわたって、調布で活躍するイラストレーター3人の展覧会「マチトリドリ～調布を描くイラスト展～」が開催され、9月2日、3人のギャラリートークが行われました。					
16日 ～ 31日	①地域デビュー 『植物画研究会 百日紅(さるすべり)』 身近にある植物を描いています。(透明水彩絵具、色鉛筆、ボールペン、その他) 初心者の方にも、先生の丁寧な指導が受けられます。 ②地域デビュー 『はじめての韓国語』 初級・中級の2クラスに別れて韓国語の読み書きと発音を学んでいます。会話だけでなく、韓国の歴史・文化・生活習慣・衣食住などに触れながら楽しく学んでいる様子を紹介します。 ③地域デビュー 『フラワーサークルこでまり』 テーマに合わせて季節の花をアレンジし、花々の美しさ・可憐さに親しんでいます。完成した作品を品評し合って、楽しい時を過ごしている様子を紹介します。					



ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内 容	ご 紹 介
10月	2日(再放送) 11日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』 中原道夫さんの詩の朗読	中原道夫詩集『薔薇を肴に』から「信号」、「薔薇を肴に」、「雪の朝」から「酒宴」、「もし」、「空」から「少年」、「ぶら下がり」、「竹とんぼ」の朗読をお届けします。朗読：峯田里香子
	16日(放送) 23日(再放送) 30日(再放送)	ゲスト：畑山隆史さん (ちょうふ通信いさみ編集長)	調布市出身のサラリーマンが運営するローカルブログ「ちょうふ通信」。ちょうふの良いところを発信している、いさみ編集長こと、畑山隆史さんにお話を伺いました。
			インタビュアー：柴田紀恵子

HP

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！
インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式 HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】



聞かれても絶対に言ってはダメ たんす預金と預貯金

特殊詐欺犯人は巧みな話術で資産状況を聞き出そうとする。電話で聞かれてもたんす預金と預貯金の額は絶対に言っ
てはいけない。調布警察署(電話042-488-0110)では「犯罪集団が闇の名簿にする可能性がある。言ってしまったらすぐに警察に通報下さい」と注意喚起する。

防火防災標語を募集中

今回のテーマは「救急標語」

東京消防庁は毎年、防火防災の意識を高めるためにわかりやすい標語を部門別に募集中(11月15日まで)。今回は「救急標語」。救急車の適切な利用などがテーマ。令和5年度の標語は「まず行動 救える命 あなたから」。調布消防署(電話042-486-0119)は「ぜひ応募してもらいたい」と呼び掛け。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2 階 市民活動支援センター気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14